

第12回 諏訪赤十字病院 市民公開がん講演会 開催報告

2018/08/31 がん診療推進室

当院は、地域がん診療連携拠点病院事業の一環として、一般市民の皆さまへの“がんに対する正しい知識の普及”を目的に、2008年より市民公開がん講演会を開催して参りました。

12回目の今回は、大腸がんについて4講演を行いました。

第12回市民公開がん講演会

開催日:2018年8月25日(土)13:00~15:30

場 所:岡谷市文化会館 カノラホール(小ホール)

参加者:約400人

テーマ:大腸がん~ここまでの治療、これからの展望~

内 容:「大腸がんの手術~腹腔鏡下手術を中心に~」五味邦之(諏訪赤十字病院 消化器外科部長)

「人工肛門(ストーマ)について」原慎吾(諏訪赤十字病院 皮膚・排泄ケア認定看護師)

「一人じゃないよ」柿本聡(がんサバイバー)

「大腸がんの薬物治療~遠くない将来の治療情報も先取り~」

進士明宏(諏訪赤十字病院 腫瘍内科部長)



五味医師には、実際の手術映像を交えながら、低侵襲手術についてお話をいただきました。



柿本氏には、明るく、力強く、自らの体験談をお話いただきました。「一人じゃないよ」「がん≠死、人間=死」「がん晴れる」などのメッセージに会場が勇気づけられました。



原看護師には、ストーマの実際についてお話をいただきました。



進士医師には、薬物療法の現在そして未来についてお話をいただきました。



約400人という多くの方々にご来場をいただき、大盛況のうちに会を終えることができました。ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。
当院では、がん患者さまのQOL向上を目指し、がん診療提供体制の整備に努めて参ります。今後とも、がん診療連携拠点病院へのご理解とご支援をお願いいたします。

本件に関するお問い合わせ先 ☎0266-57-6062 諏訪赤十字病院 がん診療推進室